

脱原発を訴え25回目

岐阜市街で市民らデモ



原発再稼働の反対を訴える参加者ら＝JR岐阜駅前

市民らが脱原発を訴える「さよなら原発・パレードinぎふ」が十一日、岐阜市中心部であった。

パレードは市民団体「さよなら原発・ぎふ」が三カ月に一回開いており二十五回目。今回は市内外から約二百人が参加した。

東日本大震災から六年三カ月がたったこの日、「フクシマは終わってない！」をテーマに「やめよう原発」「とめよう再稼働」

「未来を守ろう」などと力強く訴えながら、JR岐阜駅から北へ約一・二キロ練り歩いた。

六日には福井県の高浜原発3号機が再稼働し、国内で稼働する原発は五基になった。

団体の伊藤久司さん(五七)は「福島原発事故がもたらした被害は続いているにもかかわらず、原発の再稼働が進められ、先の見えない状況だ」と警鐘を鳴らした。

(下條大樹)